発行月：平成22年12月　　家族新聞　　第18号

環境教育「まず、今できることから」

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL0561-51-2878

中部の未来創造大賞「奨励賞」

第十一回中部の未来創造大賞
住民部門で奨励賞授賞する。
主催中部の未来創造大賞推進協議会
この賞は中部五県三市が（国土交通省中部地方整備局）推進主体となっており、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。
長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・静岡市・浜松市・名古屋市・中日本高速道路（株）他 後援中部経済連合会

代表コメント「設立五年で皆様からの協力で表彰を授賞しました。やはり一歩一歩自分達の目せんで、ぶれない活動をすることが、これからの発展につながると思います。」
「地域の次世代を担うこども達の環境教育とまちづくり」

▲市長と共に市長室で

▲尾張旭市谷口市長に授賞の報告をする地域環境活性化協議会代表高橋氏（市長室撮影）

どのような情況が授賞対象になったか。
具体的には森の探訪体験、川の水質等調査、環境に加え社会の仕組みを学ぶ「こども環境大学」県道・市道の清掃を行うアダプト運動、美化効果・啓発、地域PRを推進する環境アイラム、子供むかし遊び伝承。

東市大学渋谷林探訪
水生昆虫をみつけ懸命な子供達

十一月十三日（土）に信州大学感性工学科教授上條先生を講師に「子供達の自然活動は感性を育む」と課して講演をして頂いたが、感性はものが出来るプロセスが子供達の感性が本来上るのだと言われました。本当にそのとうりです。この嬉びの姿は本当にすばらしい自然のエネルギーがすべてを育てるのです。
子供達が環境紙芝居を書きました。
巡回劇場でさまざまな効果を生んでいます。

▶矢田川水質調査出前授業東中学校